

# 第6講座 ■ 古文

★印は、単元内容に特に関連する問題です。

## ■要点のまとめ ■

### ◇歴史的かなづかいの原則

(1) 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「わ・い・う・え・お」と読む。

例 あはれ→あわれ こひ→こい (恋) いふ→いう (言ふ)

(2) 「ゐ」「ゑ」は「い」「え」と読む。

例 ゐる→いる (居る) こゑ→こえ (声)

(3) 「ぢ」「づ」は「じ」「ず」と読む。

例 もみぢ→もみじ みづうみ→みずうみ (湖)

(4) 助詞以外の「を」は「お」と読む。

例 をとこ→おとこ (男)

(5) au・iu・eu・ouと母音が連続するときは、ô・yû・yô・ôと読む。

例 やうす [yausu] → ようす (様子) [yôsu]

### ◇古文の読み方

(1) 古語の意味を正しくつかむ。

古語(古文で使われている言葉)には、現代語と形は似ているが、意味が異なるものがあるので注意する。

(2) 省略されている主語や助詞を補う。

古文では、主語や助詞が省略されることが多いので、補いながら読み進める。

例 「竹取の翁といふものありけり。……あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。」→「竹取の翁という者がいた。……(竹取の翁が)

不思議に思つて、近寄つて見ると、筒の中が光つている。」

## 文の成分・文の組み立て

(1) 次の——線部を漢字に書き

(2)

直しなさい。

述語に~~~~線を引きなさい。

(1) これが私の家です。

(2) 夕焼けがとても美しい。

(3) 次の各文の——線が修飾している文節に~~~~線を引きなさい。

(4) 次の各文の——線部を漢字に書き

(1) 図をかく|だいする。

(2) 海底をちようさ|する。

(3) ひみつを守|る。

(4) 次の各文の——線部の文節どうしの関係をそれぞれあとから選びなさい。

(1) 広い草原が続|いている。

(2) ぎらぎらと太陽が輝|く。

(3) 次の各文の——線部の文節どうしの関係をそれぞれあとから選びなさい。

(4) 月と星を見た。

(1) 川に魚をは|なす。

(2) 一生懸命生きていく。

(1) 月と星を見た。

1 次の古文と現代語訳を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

〔古文〕

花の咲き散る折ごとに、乳母亡くなりし折ぞかしとのみ、あはれなるに、<sup>①</sup>同じ折亡くなり給ひし侍従の大納言の御女の手を見つつ、すずろに Aなるに、五月ばかりに、夜ふくるまで、物語を読みて起きぬたれば、来つらむ方も見えぬに、猫のいとなごう鳴いたるを、驚きて見れば、いみじうをかしげなる猫あり。<sup>③</sup>いづくより来つる猫ぞと見るに、姉なる人、あなかま。人に聞かすな。いとをかしげなる猫なり。飼はむ。とあるに、いみじう人馴れつつ、かたはらにうち臥したり。

(菅原孝標女『更級日記』)

〔現代語訳〕

(桜の)花が咲いたり散つたりする季節が来るたびに、乳母が亡くなつたころだなあと、そのことだけが思い出されて、しみじみとした気持ちになるのだが、同じころお亡くなりになつた侍従の大納言の姫君がお書きになつたものを見ては、むやみにしみじみとした気持ちになつていて、<sup>5</sup>と、<sup>いんれき</sup>陰曆五月ごろに、夜がふけていくまで、物語を読んで起きて座つて Aなるのだが、同じころお亡くなりになつた侍従の大納言の姫君がお書きになつたものを見ては、むやみにしみじみとした気持ちになつていて、<sup>5</sup>と、<sup>いんれき</sup>陰曆五月ごろに、夜がふけていくまで、物語を読んで起きて座つて Bかわいらしい様子の猫がいる。どこから来た猫かしらと(思つて)見てみると、姉が、「しつ、静かに。人に聞かせてはいけませんよ。とてもかわいらしい猫ですね。(私たちで)飼いましょう。」と言つと、たいそう人に慣れて、そばにうずくまつてい る。

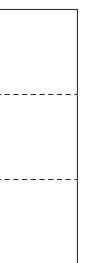
問一 線①「同じ折」とあります。季節はいつごろですか。漢字一字で書きなさい。



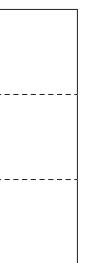
問二 線②「手」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 手形 イ 手柄てがら  
ウ 筆跡 エ 遺跡

問三 Aにあてはまる言葉を古文中から三字で書き抜きなさい。



問四 線③「いづくより来つる猫ぞ」の現代語訳にあたる部分を書き抜きなさい。



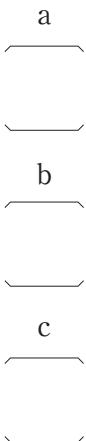
★問五 Bにあてはまる現代語訳として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 少しも イ たいへん

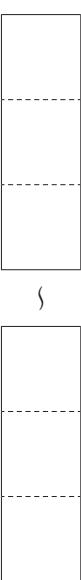
- ウ おそらく エ おかしな

作主として最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。(同じ記号を何度も使ってもよい。)

- ア 侍従の大納言の御女 イ 作者  
ウ 姉なる人 エ 猫



問七 古文中に「」(カギ)を付けられる会話文が一か所あります。その初めと終わりの三字を書き抜きなさい。



## 練習問題

1 次の古文と現代語訳を読んで、あととの間に答へなさい。

〔古文〕

朝夕へだてなくなれたる人の、ともあるとき、われに心おき、ひきつ  
くろへるさまに見ゆること、「今さらかくやは。」など言ふ人もありぬべ  
けれど、なほげにげにしく、よき人かなとぞおぼゆる。  
うとき人の、うちとけたることなど言ひたる、また、よしと思ひつき  
ぬべし。

〔現代語訳〕

ふだん何の隔てもなくなれ親しんでいる人が、どうかした時に、私に  
氣を遣つて、改まつた態度に見えるのは、「今さら改まつて、そんなにし  
なくとも。」などと言う人もきっとあるだろうが、やはりはじめて、教養  
のある人だなあと□。

(また)ふだんあまり親しくない人が、うちとけた話などしたのは、  
これもまた、りっぱだと心ひかれるにちがいない。

問一 線①「朝夕へだてなくなれたる人」とあります、これと反

対の意味を表す言葉を古文中から四字で書き抜きなさい。

問二 線②「かく」の指している内容を、古文中から九字で書き抜  
きなさい。

★問三 線④「おぼゆる」の現代語訳として□にあてはまる最も

適当なものを次のうちから選び、記号で答へなさい。

- ア 記憶する イ 思い出される  
ウ 思われる エ 思いつく

★問四 Aさんたちは、古文と現代語訳を読んで次のような話し合いを行  
いました。話し合いの中の□I・IIにあてはまる言葉を、それ  
ぞ現代語訳の中から書き抜きなさい。

(兼好法師『徒然草』)

Aさん この古文には、現代の言葉と同じ意味で使われている  
言葉があるね。たとえば――線③「なほ」は、現代かな  
づかに直すと「なお」だよね。この部分の現代語訳を  
見ると、「□I」という意味で訳されているよ。現代語  
の「なお」も、同じ意味で使われる場合があるよね。

Bさん 一方で、現代の言葉に似ていても、意味が違う言葉も  
あるね。古文の最後の一文の「思ひつき」は、現代語の  
「思いつく」に似ているけれど、現代語訳では「心ひかれ  
る」となっているよ。

Cさん 線⑤「よし」も、現代語訳では「□II」となつ  
てているよ。

Aさん 「よし」には、他にも「上手だ」などいろいろな意味が  
あるみたいだよ。一つの言葉で複数の意味をもつ場合も  
多いから、文脈に注意して読む必要があるね。

2 次の古文と現代語訳を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

〔古文〕

人の物を問ひたるに、知らずしもあらじ、ありのままに言はんはをこがまし<sup>①</sup>とにや、心まどはすやうにかへりごとしたる、よからぬことなり。  
知りたることも、なほさだかにと思ひてや問ふらん。また、まことに知らぬ人もなどかなからん。うららかに言ひきかせたらんは、おとなしくきこえなまし。

〔現代語訳〕

人が何かを尋ねた時に、まったく知らないということはあるまい、あ  
りのままに答えるのはばかげていると思うのであろうか、( )の心  
を迷わすように返事をしているのは、よくないことである。知つている  
ことでも、なおいつそはつきりと(知りたい)と思つて尋ねるのかも  
しない。また、ほんとうに知らない人もきっといるであろう。(だか  
ら)はつきりと説明してやるのが、思慮分別がある答え方に聞こえるで  
あるう。

★問五

( )にあてはまる言葉として最も適当なものを次のうちから選  
び、記号で答えなさい。

ア 世間の人々 イ 質問をされた人

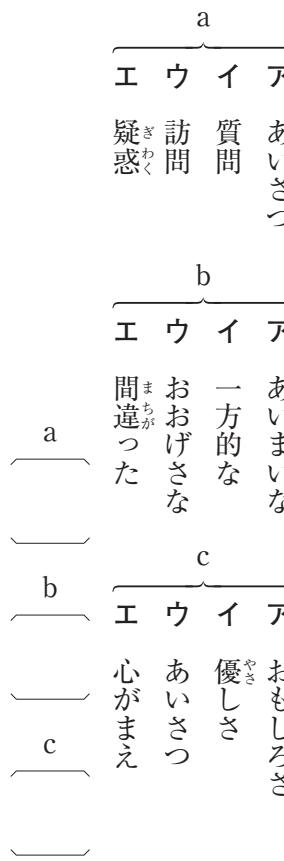
★問六

この文章について解説した次の文章の( )a～cにあてはまる  
言葉として最も適当なものをあとから選び、それぞれ記号で答えな  
さい。

この文章は、『徒然草』の一節である。作者の兼好法師は、人の  
( )aに対しても、( )b答える方をするのはよくない、と説き、人間  
どうしの社交上の( )cについて述べている。

★問一 線①「知らずしもあらじ、ありのままに言はんはをこがまし」とあります  
が、このように思うのはだれですか。最も適当なものを  
次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 世間の人々 イ 質問をした人  
ウ 作者 エ 質問をされた人



問三 線③「よからぬことなり」とありますが、それはなぜですか。  
その理由を述べている一文を古文中から二つ書き抜きなさい。

問四 線④「さだかに」の現代語訳にあたる言葉を五字で書き抜きなさい。

(兼好法師『徒然草』)

5

